

急傾斜施設が効果を発揮した事例（鹿児島県鹿児島市） かごしまし



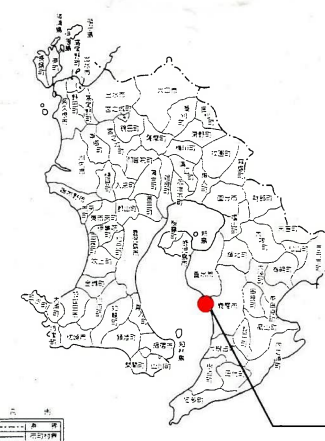
急傾斜施設が効果を発揮した事例（鹿児島県鹿児島市）^{かごしまし}



急傾斜地崩壊防止施設の効果事例（鹿屋市上古江地区）

平成17年9月5日～6日にかけて襲来した台風14号による豪雨により人家裏の斜面で崩壊が発生したが、急傾斜地崩壊防止施設により崩壊土砂を捕捉し、斜面下部人家への被害が回避された。

位置図



上古江地区

崩壊状況全景



崩壊土砂捕捉状況

急傾斜地崩壊防止施設効果事例(南さつま市上村地区)

平成22年6月18日～7月1日までの梅雨前線豪雨により人家裏の斜面で崩壊が発生したが、急傾斜地崩壊防止施設により崩壊土砂を捕捉し、斜面下部人家への被害が回避された。

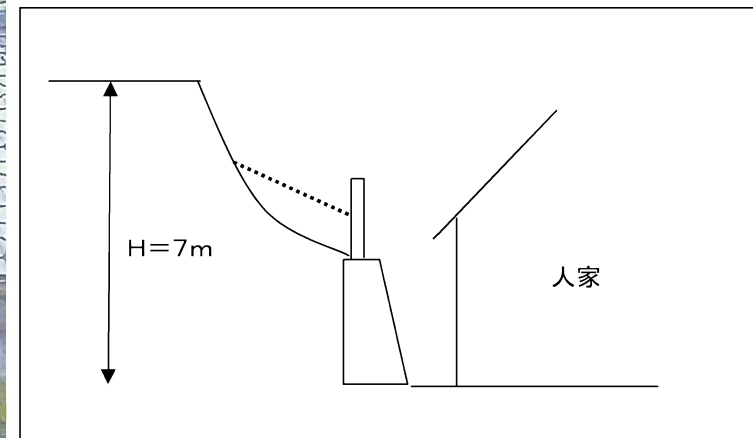
位置図



6月22日発生



【上村地区】南さつま市笠沙町片浦地内



【施設効果事例】鹿児島県奄美市住用町山間

あまみし すみようちょう やんま

砂防課

災害発生日：平成25年6月28日

降雨状況：なし(落石)

あまみし すみようちょう やんま

発生箇所：鹿児島県奄美市住用町山間

崩壊状況：落石 Φ0.5m

状況：急傾斜地崩壊危険区域内で落石が発生したが、待受擁壁が整備(昭和56年施工)されており落石を捕捉。被害軽減に効果を発揮した。



【施設効果事例】^{かけのした} 掛之下 ^{かごしまし なんえいちよう} 急傾斜(鹿児島市南栄町)

災害発生日: 令和2年7月3日～4日

降雨状況: 連続雨量 158mm(7月4日10時～4日24時)

時間最大雨量 27mm(7月4日9時～4日10時)

^{かごしまけん かごしまし なんえいちよう}
発生箇所: 鹿児島県鹿児島市南栄町

崩壊状況: 土石流捕捉量 約200m³

状況: 7月3日～4日の大雨により崖崩れが発生したが、待受擁壁が設備されており土砂及び流木を捕捉。住家等への被害を未然に防止し効果を発揮した。

位置図

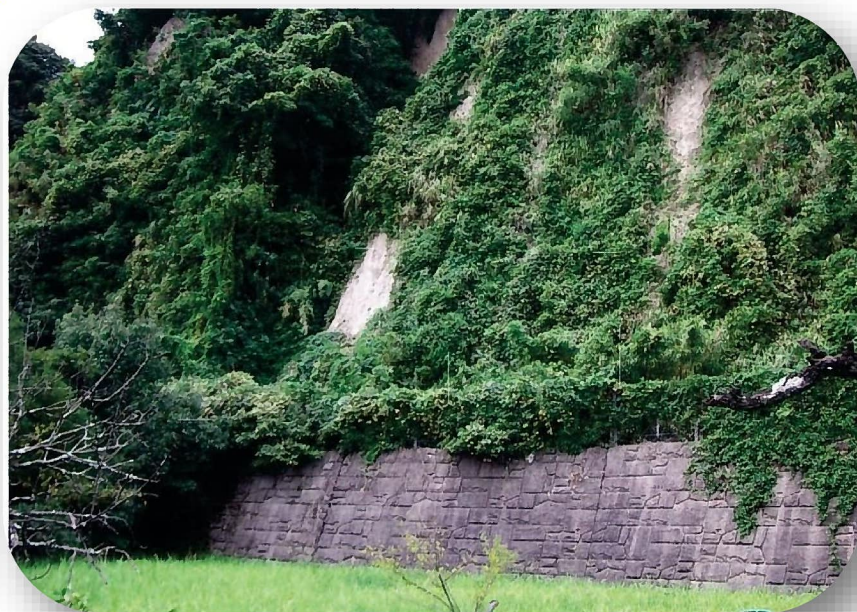


鹿児島県鹿児島市

全景



崩土発生前 (H25.9.30)



崩土発生直後(R2.7.8)



【施設効果事例】 弥勒 急傾斜(始良市加治木町)

災害発生日: 令和2年9月7日

降雨状況 : 連続雨量 99mm(9月5日23時~7日6時)

時間最大雨量 17mm(7月6日9時~6日10時)

かごしまけん あいらし かじきちょう

発生箇所 : 鹿児島県始良市加治木町

崩壊状況 : 土石流捕捉量 約200m³

状況 : 令和2年台風10号により崖崩れが発生したが、待受擁壁が設備されており土砂及び倒木を捕捉。
住家等への被害を未然に防止し効果を発揮した。

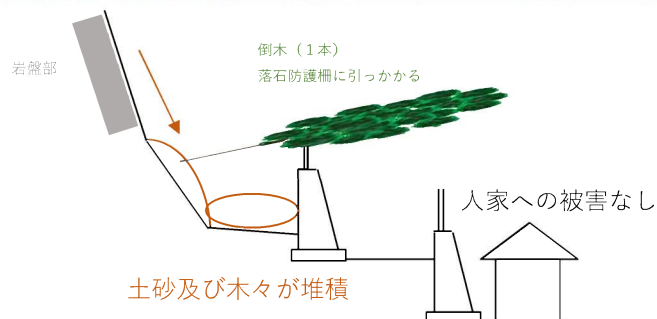
位置図



全景



急傾斜地崩壊防止施設が崩土と倒木を捕捉

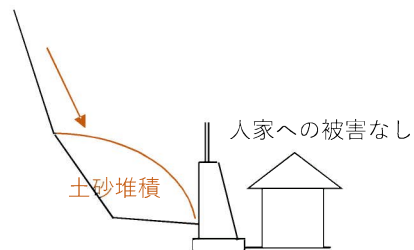


令和3年_砂防関係施設による効果事例



発生日時 : 8月20日(金) 2:00頃
(ききとりによる)
発生場所 : 南九州市川辺町田部田地区
災害形態 : がけ崩れ H=6m W=15m
被害状況 : 人的・物的被害なし
土砂災害警戒区域等 : 土砂災害警戒区域指定済み
急傾斜地崩壊危険箇所 : II-1-4885
既設施設 : 有

急傾斜地崩壊対策施設が崩土を捕捉



崩土捕捉状況



南九州市川辺町
田部田地区



崩土捕捉状況



崩土捕捉状況



【施設効果事例】日枝ヶ迫2地区_急傾斜地崩壊防止施設

位置図

鹿児島市原良_空撮図



日枝ヶ迫2地区

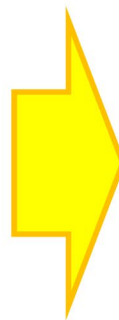
がけ崩れ発生状況

全景



災害発生前

急傾斜地崩壊防止施設（落石防護柵及び擁壁）



全景



災害発生後

※周辺人家(写真手前)に被害無し

○令和4年9月19日の台風第14号により倒木及びがけ崩れが発生したが、鹿児島県による急傾斜地崩壊防止施設が整備されており倒木及び崩壊土砂を捕捉。周辺人家等への被害を未然に防止した。

発生日：令和4年9月19日

降雨状況：連続雨量 209mm (9月18日 2時～19日17時)

時間最大雨量 31mm (9月18日18時～19時)

か ご し ま し ひ え が さ こ

発生箇所：鹿児島県鹿児島市 日枝ヶ迫2地区

捕捉量：倒木及び土砂約30m³倒木及び崩壊土砂を
捕捉！！！！